

(参考様式5)

平22年度 元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
群馬県	渋川市赤城町	北上野地区	H18～H21	H18

1. 施策ごとの評価

(1) ソフト (該当なし)

①施策の内容:

②施策の実績

--

③施策の効果

--

(2) ハード

①施策の内容: 地形図の作成に併せて農地集団化のための資料を収集し、未整備地や遊休農地情報を整理する事により担い手への農地集積を進めるための基礎条件を整え、農業経営の効率化と生産の向上・安定を図る事業導入を推進する。

②施策等の実績

ア 実施計画達成状況

事業種類	事業内容	事業量	事業主体	着手年度	完了年度
生産基盤整備	農用地等集団化	A=38.4ha	赤城西麓土地改良区	H18	H18

事項	単位	計画時 (H17)	目標値 (H21) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
基盤整備事業の 着手までの年数	年	—	3	—	0%	H22年10月に 採択申請予定

イ 施設等の利用実績 (該当なし)

③施策の効果

--

## 2. 指標の達成状況に関する評価

	成果指標 (単位)※	基準値 (17年度)	目標値 (21年度)	目標増減 (増減率等) (A)	実績値 (22年度)	実績増減 (増減率等) (B)	達成率 (%, 下2桁) (B/A)
必 須	基盤整備事業の 着手までの年数	—	3ヶ年	3ヶ年	—	—	0%
地 域							

※成果指標(単位)の必須欄には、実施要領(別紙1)に定められている成果指標及び単位を記載すること。

本地区については、事業実行委員会と協働して事業計画構想を取りまとめ、事業化に向けた合意形成のための地元説明会開を通じて地権者の意見集約を図ってきた。

しかし、高圧線下補償地の取り扱い、土地持ち非農家の農業投資に対する不安感払拭までには至らず、事業実施に必要な同意率を得られなかったことから、生産基盤整備工事への着工目標年度がずれ込んだ。

## 3. 目標の達成状況に関する評価

本事業の主目的である、農地の権利関係の把握や換地設計基準の作成は完了し、担い手候補者への農地利用集積計画についても受益者の合意形成が図られた。

しかし、事業計画構想における高圧線下補償地の取り扱いや、農業投資への不安を持つ高齢者等から計画内容に対する不安感が提起され、農業基盤整備事業の補助事業採択に至らず、事業成果の有効活用が図られない状況にある。

## 4. 総合評価

計画目標年次からは遅延したものの、現況道路を極力活かした事業計画案を作成して事業未同意者に配慮するとともに、高圧線下補償地の取り扱いに関しても過年度施工地区の事例を基にした説明を行い、補助事業採択に向けての下準備が整いつつあることから、最終的には事業目標を達成できると考えられる。

(都道府県の意見)

基盤整備事業の着手は目標年次より遅延しているものの、土地改良区をはじめ、地域住民も含めた中で合意形成に努めている。

また、基盤整備事業についても、来年度の採択に向けて地権者説明会を開催するなど最終段階の調整が進められ、本事業の成果を活用する準備も整えられていることから、農業を核とした元気な地域づくりがなされるものと期待している。